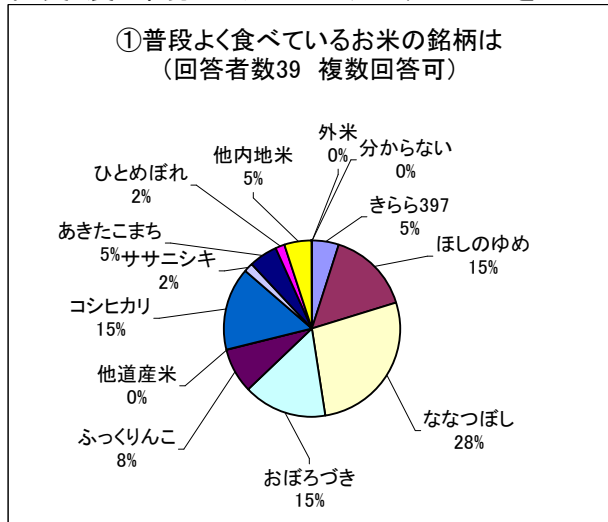
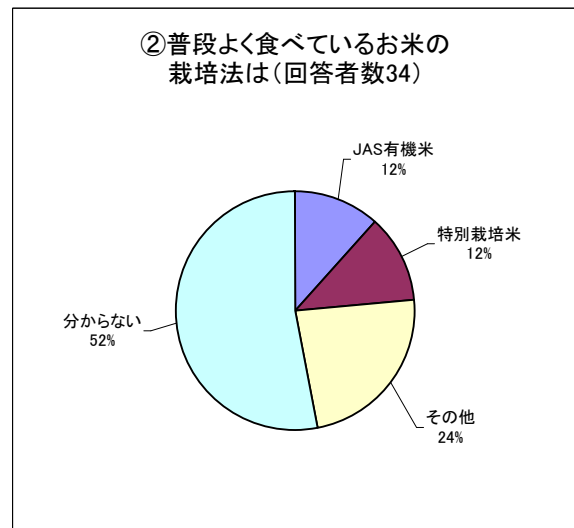


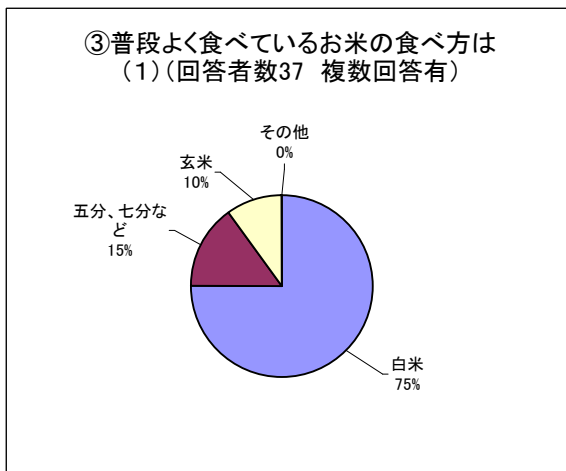
第5回食・農・環境セミナー「ふゆみずたんぼをいただきます」(2008.3.9恵庭市民会館 創地農業21主催)参加者アンケート集計



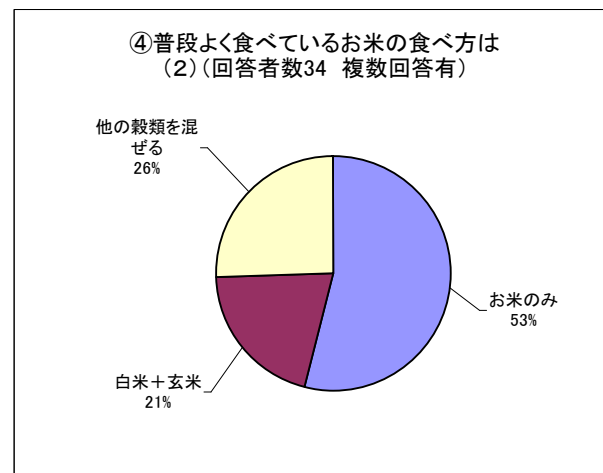
コメント:セミナー参加者の道産米比率が71%。
2007米穀年度(06年11月~07年10月)の道内食率(道内米消費に占める道産米の割合)70.2%にほぼ一致しています。
道産米ではななつぼし、おぼろづき、ほしのゆめ、内地米ではコシヒカリが人気。



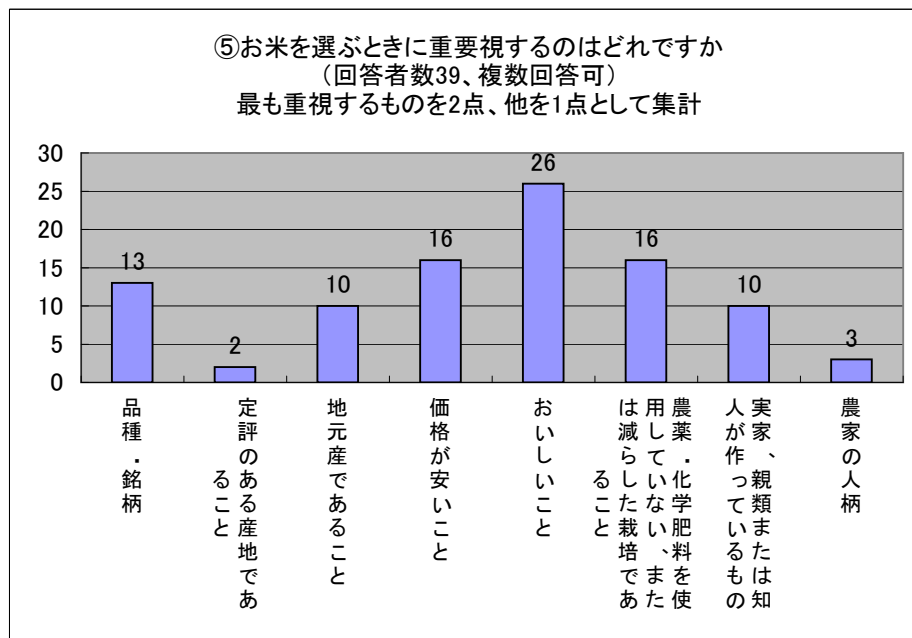
コメント:約半数がどんな栽培法のお米を食べているか認識しているようです。



コメント:白米で食べる方が多いですが、玄米や五分づき、七分づきの方もいらっしゃいます。



コメント:③で「白米」と回答した方の中にも他の雑穀を混ぜて食べている方が3割ほどいらっしゃいました。



コメント:個別に回答を見ると今回のセミナー参加者は「価格重視派」と「減農薬、無農薬重視派」に二分されるようです。「安さ」と「無農薬・減農薬」を合わせて選んだのが2人だけ。いずれのグループもおいしいお米であることは外せない条件のようで、設問①で良食味の銘柄が好まれていることも符合します。価格の安さは最も重視する項目に挙げた方が多いです。「安さ」を挙げた方は設問②で普段食べているお米の栽培法を1名を除いて「分からない」と回答しています。「減農薬、無農薬」を挙げた方の場合、約半数は設問②で普段食べているお米の栽培法を認識していました。